



2つ目のバージョン（P47）はスイスの個人蔵である。「火」の人物は炎を生み出すもの、光を放つもので構成されている。松明や大砲などの光るもの、ロウソクや火打ち石、のろしなど、火を起こすのに使われるものなどである。絵の中にはいくつか異なる種類の火が描かれている。王冠は大きなたき火でできており、顔の鼻と耳は金属の部品、目は小さなロウソク、頬は紙きれ、あごはオイルランプ、口ひげは灯心の束、しわの刻まれた額はロウソクの芯のロールからなっている。たき火を照らしている大きなロウソクが首となって顔と襟をつなぎ、その襟には強力な騎士団であった金羊毛騎士団の勲章が飾られている。

「大地」（細部1）

1570年頃

木板に油彩、70.2 x 48.7 cm

ウィーン、個人蔵